

みき通信



日本共産党 町議会議員
くぼたみき 活動報告

第54号 2015年10月25日

発行 がんばれくぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)

国民連合政府 - 連帯・共同の力で戦争法廃止へ -

戦争法（安保法制）の成立強行後、訪米した安倍首相（9月26～30日）ですが、日本の軍事的役割拡大を売り込んだものの、国連総会一般討論演説で議場はガラガラ、オバマ大統領との会談もありませんでした。

創立70年目の国連では、特別の首脳会議が開かれ、2030年までに極貧飢餓を根絶するなど、戦争の温床を非軍事的手段で解決する取り組みが確認されました。アフガニスタンやイラク戦争など軍事力では解決できない中で、世界は積極的な平和外交を求めており、この流れに逆行する日本の劣化が際立っています。

前号みき通信でご紹介した日本共産党提案の『国民連合政府』に、今共感や期待、注目が集まっています。その内容は・・・

”戦争法廃止、立憲主義を取りもどす”この一点で一致する政党、団体、個人が共同して「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府を樹立しよう。

集団的自衛権行使容認の「閣議決定」を撤回し、戦争法廃止を実現後の日本の針路は、解散、総選挙で国民の審判で選択。

政策的な違いは横において「戦争法廃止の国民連合政府」で一致する野党が、国政選挙で協力しよう。というものです。

安倍政権の暴走を止め、憲法の平和主義、立憲主義、民主主義が破壊されるといふ非常事態を改めるには、国会の力を逆転しなければなりません。

公約違反のTPP参加、労働法制の改悪、社会保障の後退など、国民生活を犠牲にしながら軍事産業の育成強化や原発輸出で大企業の利益を優先する「アベ政治を許さない」「戦争法廃止」「野党は協力」の声をさらに大きく広げ、新しい政治の実現を目指していきましょう。一人ひとりの声、行動が国を動かしています。

「皆さまのご意見をうかがう会」 ～ 学校給食について～ 議会主催で開催 町議会議員 くぼたみき

これまで議会、みき通信で何度も取り上げてきた「中学校給食」は、実施に向けやっと動き出しましたが、同時に「小学校給食」も変更されそうに動いています。小学校の給食室施設の老朽化が進む問題等、中学校給食実施にむけて、小学校も含めたセンター調理方式の給食にすることで数々の問題解決に繋がるとしています。何年もかけて進めてきた中学校給食にくらべて、一気に話が進んでしまった小学校給食。私にも、多くの不安の声が届きます。

議会として「皆さまのご意見をうかがう会」を設け、午前、午後合わせ50名の方が参加。保護者の方、先生方、給食調理従事者の方、そして候補地の上山口小学校周辺に住む方、色々な方からの意見をうかがうことが出来ました。「施設が出来れば輸送トラック、従事者の通勤車と通学路を通り交通量増による安全性が心配」「共同調理場は工場扱いでも学校関連施設なので、市街化調整区域外への特例があるのでは」「旧校舎を使っている町民が引き続き使用できる施設を」「中学校給食を望んでいた声は、6校合同の方式でもいいと考えるか再調査を」「自校式を宣伝し住民誘致につなげては」「各小学校では特色を持った食育を行っているが現段階で考慮がない」

どの会場でも、当事者の声が入らないまま決定事項のように進んでいることへの不満、不信感の声が挙げられました。

私も同じ不満、不安を持ち、一般質問で質しましたが、教育委員会として「小学校給食のセンター化の方針はまだ持っていない」といいます。行政の中で教育環境を一番に守っていけるのは、教育委員会です。教育委員会としてしっかりとメリット・デメリットを精査し、きちんと方針をたてて早急に取り組むべきです。議会からの指摘を受け、当初は考えていなかったPTAへの説明やパブコメ等を実施します。良いものを作ろうとするなら町民の中に飛び込んでいかなければ、様々な声は聞けず、様子はわかりません。「ご意見を伺う会」で町民の方から「このような会を設けていただいてありがとうございます」と多くの方から言われ、直に皆さんからの意見を伺うことの大切さを実感しました。

次の議会でも町民との協働を進めるため取り組みます。